



掛合中だより



雲南市立掛合中学校
第14号(地域版)
2025.8.20(水)
文責 根本登三男

学校教育目標：ふるさとを愛し 自他を大切にしながら たくましく未来を切り拓く生徒の育成



2025夏その① 吹奏楽部と柔道部

柔道部は島根県総体(7/19、20)に出場。団体は男女ともに予選惜敗で決勝トーナメントには進めませんでした。個人戦は勝部さんと朝山さんが3位。2位になった藤原さんが中国選手権(8/3)の出場権を獲得しました。試合は初戦で敗れるものの、熱い戦いぶりに次への期待が高まりました。

吹奏楽部は吉田中との合同バンド。写真は雲南サマーバンドフェスティバル(7/21)と島根県吹奏楽コンクールに向けて猛練習中の様子。毎日、暑いランチルームでの練習は大変でしたが、着実に課題を克服して本番を迎えました。当日は素晴らしいパフォーマンスでした。価値ある銀賞です。

End of Summer Vacation

～2025夏その② 戦後80年～

【広島平和記念公園】 8月3日(日)、中国柔道選手権に出場した藤原さんを応援した後、広島平和記念公園に行ってみました。ここ数年必ず中国大会にあわせて訪れているので、初めからその予定だったのですが、今年は「戦後80年」にあたる特別な式典が近いということもあって、これまで以上に人が多かったような気がします。慰霊碑の前で手を合わせていると、すぐ近くで報道関係者が若者たちにインタビューをしていました。そこからも「80年」という言葉が聞こえてきました。原爆ドームの前では、幼い子ども2人がお父さんとお母さんに手をひかれながらぴょんぴょん跳ねて遊んでいました。その光景はまさに「戦争と平和」そのものでした。争いごとのニュースに触れるたびに心が痛みます。そして、8月になると改めて平和の尊さ、平和学習の大切さを感じます。



【安来市加納美術館】 安来市で勤務していた10年前、ここで「戦後70年」の記念式典があり、演奏を依頼された吹奏楽部と一緒に参加しました。「加納莞蕾(かんらい)」の画家としての経歴と作品、そして何よりも世界平和を訴え続けた偉業に心が打たれました。その時の思いが強かったこともあり、江津市で勤めていた5年前、コロナ禍で縮小された修学旅行の研修先に加納美術館を選びました。もちろん永井隆記念館とセットです。あれから月日がたち、今は通勤で記念館の前を毎日通ります。先日、思い立って3年ぶりに美術館に行ってみました。企画展「人形とたどる 昭和100年・戦後80年」はなかなか感動的でした。皆さんも「戦後80年」のこの機会に是非どうぞ!! そして、莞蕾の「赦し難きを赦す」の真実もしっかり見つめてきてほしいと思います。

【語り部】 本物の話はいつまでも記憶に残ります。これまで戦争の体験談を何度か聞いてきましたが、3年前の講話が忘れられません。当時のメモをそのまま紹介します。

●勤労働員として130人の女学生が呉に行って小型飛行機の部品を作った。場長から「爆弾を積んで飛行機ごと敵船に体当たりする。粗末な部品を作ったら敵船にたどり着くまでに海に落ちてしまう。」と言われ、涙を流しながらきちんとした部品を作ろうと頑張った。空襲警報が鳴り響き防空壕に入り、外に出たら寮はなくなっていた。それからしばらくたってから広島空にきのこ雲を見た。(当時15歳)

●日本が敗けるはずがない、こんな大きな船が沈むわけがないと信じて、沖縄に向かう戦艦大和を見送ったのは昭和20(1945)年4月7日。海軍通信兵として任務に就いた時のこと。大和が約300機の米軍機の攻撃で沈んだことを知ったのはその数日後。やがて広島には飛行機を飛ばす燃料もなくなり、島根にもどって宍道湖岸で松根油を作った。(当時16歳)



●昭和20年、赤紙(召集令状)が届いて父はフィリピンの戦場に行った。8月15日ようやく戦争が終わった。父が帰ってくると信じて毎日毎日待ち続けた。そして3年半の月日がたって戦死の連絡がきた。でもいつどこでどのように亡くなったかわからない。父と過ごした記憶はほとんどない。(当時3歳)

【母親の記憶】 これまでも何度か聞いたことはあるのですが、施設から日帰り帰宅を許されたのでちゃんと聞いてみました。いろんな記憶が曖昧なのに、80年前のこの話は実に鮮明で具体的でした!!



(要約) 終戦とともに小学校(北海道小樽市)に進駐軍がやって来た。米兵はとても親交的でたまに家や近くのお店に遊びに来た。「Give me Chocolate!!」とは言っていないが、ホールのスポンジケーキを置いて帰った。はじめて食べるケーキは甘くてとても美味しかった。みんな米兵とジェスチャーを交えながら笑顔で交流したが、母(←私の祖母)はいつも警戒していた。進駐軍がいる間は隣の小学校に通ったが、ある日突然いなくなった。(当時9歳)

9日(土)、吹奏楽コンクールの本番まで時間があったので、家で長崎平和祈念式典のライブ中継を見ていました。長崎に行ったのは10年以上前になりますが、祈念像に込められた作者の強いメッセージは、テレビの画面からも伝わってきました。広島市と長崎市の式典に参列した職員がいるので、感想を聞いてみようと思います。

校長のつぶやき⑭(チャンスはまだある!!)

計画していた富士登山は前日までの大雨に続く悪天候のため断念しました。今年から静岡県側からの登山ルートも入山料4,000円の徴収になったので、弾丸ツアーやマナー無視の登山客は減ったと聞いています。次回はいつになるかわかりませんが、この夏は99歳のお婆ちゃん、102歳のお爺ちゃんが登ったことが大きく話題になったので、私にもまだまだチャンスはあると思います(笑) (つづく)